

Friendship

フレンドシップニュース

News

世界へ向け



SIA 財団法人埼玉県国際交流協会

埼玉から

No. 97

Saitama International Association

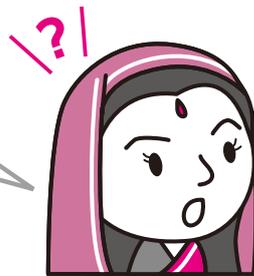
Friendship News
特集

地域の外国人とともに、 災害に備える

日本語で普通の会話はできるけど、
ニュースの言葉は難しく理解できない。
すごく揺れて電気も消えたけど、
いったい何が起きたの？
どうすればいいの？

地震なんて経験したことない！
地震に備えて
どんな準備をしたらいいの？
地震が起こったら
どうすればいいの？

避難所って何を
するところ？
外国人も行って
いいの？



東日本大震災では、「津波」という言葉や「避難」という言葉がわからずに逃げ遅れた人がいました。また、日本語があまりわからない外国人は、ニュースや周りの人たちから情報を得られないこともあり、母国からの情報に頼りがちです。そのため、母国から誤った情報を得てパニックになった人たちもいます。

このような経験から、「高台に避難してください」を「高い所に逃げてください」とわかりやすい言葉に言い換えたり、外国人にも避難訓練への参加を促して、地震のことを知ってもらったりする取組が各地で進められています。

そこで、当協会では、今年度、県、市町村、埼玉大学、NPOと連携して「災害時外国人支援体制づくり協議会」を設立し、「地域の災害時外国人支援体制づくり事業～多文化共生で地域力アップ!～」という事業を進め、外国人と助け合える地域づくりを目指しています。